

報道発表資料の配付日時 12月17日(火) 15時00分

発表項目 (行事名)	北森カレッジ・セミナーの開催 ～北海道林業の生産現場の最前線を語る～		
記者レクチャー	(実施日時)	発表者	
概要	<p>○ 北海道の林業・木材産業の最前線で活躍する人材の育成を目指す北森カレッジでは、アカデミックな教育と実践教育との接点を広げるため、森林科学を学ぶ北海道大学の学生を対象として、次のとおりセミナーを開催します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>日時：令和元年12月18日(水) 16:20～18:00 場所：北海道大学農学部中講堂(札幌市北区北9条西9丁目) 内容：①北海道林業の現状と課題～フィンランドの現状と比較して～ 道庁水産林務部北の森づくり専門学院準備室長 土屋禎治 ②生産の最前線から (有)真貝林工 専務取締役 真貝真 主催：北海道大学農学部森林政策学研究室 共催：北海道水産林務部林務局林業木材課</p>		
参考	別紙1		

報道(取材)に当たってのお願い	広く道内外の方々に知ってもらうため、積極的な報道をお願い致します。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	林政記者クラブ
	同時レク		

担当 (連絡先)	水産林務部林務局林業木材課人材育成G 兼北の森づくり専門学院準備室 担当：主幹 小笠原 昭二 TEL:ダイヤルイン 011-206-6579 内線 28-556		
-------------	--	--	--

主催：北海道大学農学部
森林政策学研究室

森を育て、人を育てる学び舎。2020年4月開校

共催：北海道立北の森づくり専門学院
Hokkaido College of Northern Forestry (略称「北森カレッジ」)

北森カレッジ・セミナー

別紙1

北海道林業の生産 現場の最前線を語る！

～フィンランド林業の現状と比較して～

全国を上回るスピードで人口減少が進む北海道。一方で、道内の人工林は利用期を迎え、世界的に原木調達がタイトになる中、本道の森林資源が再び注目を集めています。森林生態系を保全しながら、木材生産量を拡大させ、林業を成長産業に導く政策ビジョンはあるのか！道内の生産現場の最前線からの報告やフィンランドの現状報告を交えながら北海道林業の将来像について考えます。

日時 2019. 12.18(水) 16:20～18:00

会場 北海道大学農学部中講堂

※懇親会

セミナー修了後に講演者との懇親会を予定していますので、是非ご参加ください。

①北海道林業の現状と課題

～フィンランドの現状と比較して～
北海道水産林務部
北森カレッジ準備室長
土屋禎治



フィンランドのICTフォレストマシーン

②生産の最前線から



【眞貝真氏のプロフィール】

北海道東海大学（芸術工学部）卒業（1999）
卒業後はデザイン事務所での店舗デザイン業務・内装材の販売営業を経験（1999～2004）
2005年（H16年）より現在の有限会社眞貝林工で林業に従事。
ペレット製造・伐倒作業・植付・下刈り等の業務を作業員同様に経験し、現在も重機で巻立等の業務を行いながら、山林管理や原木の販売・営業を行う。

【お申込み・お問い合わせ】

2019年12月13日（金）までに所属と氏名を下記までお申込みください。

資料等の準備のためです、
当日参加も歓迎です

北海道大学大学院農学研究院森林政策学研究室 教授 柿澤宏昭

MAIL: kaki@for.agr.hokudai.ac.jp / TEL: 011.706.2530